

知床五湖登録引率者審査部会（第 4 回）議事メモ

実施日時：平成 23 年 1 月 19 日（水）14:00～16:45

会場：世界遺産センターレクチャールーム

出席者：小平、葛西（知床財団）、鈴木・松田・若月（引率者代表）、喜来（エコツアー推進協）、青木（知床斜里町観光協会）、野川（環境省）、大宮（北海道）、百々・岡田（斜里町）… 11 名

（1）ヒグマ活動期時間帯枠の設定について

事務局から登録引率者代表 3 名と調整し作成した案を示し、10 分間隔を基本とした時間帯枠案について部会の了承が得られ、平成 23 年度の時間帯枠が決定された。

なお、引率者が使いづらい昼時間帯の予約方法等については、登録引率者に環境省が発注し整備を進める予約システムの製作段階から参画をもらいすすめることとした。

（2）平成 23 年度からの新規養成等について

1) ヒグマ活動期の利用の方向性について

①ヒグマを見たら引き返しという基本ルールを続けるか②ヒグマを見ても状況判断シツアを継続という基本ルールを目指すのか、利用の方向性について意見交換を行った。

[部会での検討結果]

○利用の方向性、目標設定については、今年度から始まるヒグマ活動期の運用結果を確認しながら、今後も検討継続とする。

[部会内での主な意見]

- ・②を目指したいが、それを担う引率者を判断できる試験をつくるのが難しい。
- ・安全面からも②のための新規養成は 2 年程度かけ登録引率者と一緒に回るなど時間・労力をかける必要がある。
- ・①を突き詰めていくと、ヒグマと遭遇すれば引き返し、閉鎖なので、利用調整地区を導入する以前と変わらなくなってしまう。
- ・①の運用から閉鎖状況をみて判断するなど、①の積み重ねの上に②の方向がある。

2) 新規養成カリキュラムの検討

平成 23 年度からの新規登録引率者向けの養成カリキュラムについて意見交換を行った。

[部会内での主な意見]

○募集人数・募集要件について

- ・募集人数については受け入れ体制に併せて行う。
- ・引率者であるため、保険への加入や知床エコツアーリズムガイドラインの遵守・協力をすることという要件は入れた方がよい。
- ・養成費用を行政支援する場合、年間〇回の五湖案内回数の実施を必須とするなどの条件を設けたらよい。
- ・有料ガイドをしたい人の応募要件と、ボランティアガイドの応募要件を分けたらよい。

○養成カリキュラムについて

- ・ 2 時間 30 分で大ループを歩くための訓練を入れた方がよい。

○その他

- ・ プライベートガイドは、他の人の利用機会を奪うこととなるため、プライベートガイドは人気のない枠のみで設定できるなどの運用がよい。

3) 登録引率者向けカリキュラムの検討及び 4) 登録試験の検討

既に登録引率者であるガイド向けの平成 23 年度の研修カリキュラムについて、シーズン前研修 1 回及び遭遇事例のケーススタディミーティング 2 回を実施することが確認された。また、平成 23 年度の登録試験について意見交換を行った。

[部会内での主な意見]

- ・ 新規養成者への試験と現登録引率者への試験は分けた方がよい。
- ・ 現登録引率者でもヒグマ期の引率経験が少ない者（例、シーズン 3 回）に対しては、新規養成者と同様の試験を課した方がよい。
- ・ 実地試験は道々閉鎖後の五湖地上歩道の現地を利用できるのは良かった。
- ・ 実地試験の採点について 2 名の検定員の持ち点を 2 倍にし、それぞれが評価で判断するのがよい（両者×の場合減点にする方法の見直し）。
- ・ 今後、検定の内容にヒグマ対処技術だけではなく、ガイド技術を評価することも必要。

(3) 地上歩道検討課題について（知床斜里町観光協会議案提出）

予約システム、窓口案内の関係で運用の詳細について決定しなければならない課題について意見交換を行った。

[部会内での主な意見]

○ヒグマ活動期予約システムについて

- ・ 予約システムについては、登録引率者個人ではなく、ガイド事業者別に予約が出来る方がよい。
- ・ 利用者からの感想投稿のページを作ることで、登録引率者の評価が出来るため導入するのに賛成である。
- ・ 感想投稿ページについては、登録引率者への感想と、知床五湖のシステム全般に対する感想が混在する可能性があることが懸念事項としてある。
→初年度は投稿ページの公開は行わず、2 年目以降におこなうものとする。

○払い戻しルールの事業者間の統一について

- ・ 払い戻しルールはツアー料金の統一よりも難しい。ただし、いくつかの基準はつくれる可能性有り。
- ・ ツアー料金については、手数料を含めるか、含めないか事業者毎に異なる等、調整難。